

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	あかぐみ
活動日	2025. 10月～3月

### 1.テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2.活動スケジュール

- ・幼児組との交流の中で虫や植物を見せてもらい関心を持つ（10～11月）
- ・様々な葉っぱや草花、実などに触れる（12～1月）
- ・植物の手触り、色、においに関心を持つ（1～3月）

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・保育者と一緒に散策する中で子どもたちが興味を持った自然物に触れられるようにする

### 4.探究活動の実践【活動内容】

- ・月ごとにねらいを設定し、その時季に合った事象を見たり触れたり匂いを嗅いだりする
- ・1枚の葉っぱをちぎって匂いを嗅いだり茎から取ってみたり、落ち葉など色彩のあるものにも触れ、感触を楽しむ
- ・「いい匂いだよ」と声かけしながら鼻に近づけて匂いを共有したり、「あか」など色も分かるようになってきてコミュニケーションをとりながら楽しむ

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】



・園庭にあるみかんの木の場所を覚え、園庭に出るとまず、みかんの木に行き「(み)かん！」と言って触れるのが日課になる。もいだみかんの皮を剥いて、「みかんの匂いがするよ」と言うと自ら匂いを嗅いで確かめる。



・レモンの葉や青じそ、ふきのとうなど香りのする葉に触れてみる。保育者が匂いを嗅いで「いい匂いだよ」としている様子を真似してちぎって匂いを嗅いだり、手触りを楽しむ。



・背丈以上にも伸びた雑草を抜いて触ってみた。根っこや茎、大きい葉を触って感触を楽しむ。「すごいね、大きいね」と声かけると真似をして「すごい！おっきい！」と言っていた。

### 6.振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

0歳児なので様々な草、木、花、葉、実に触れるのは初めての経験。まずは見ることから無理なく始め、一人一人の興味関心を大切に。園庭には香りのある葉がいくつかあり、手触りだけではなく匂いを感じるなど五感を使った活動を心がけた。大人にとってはいい匂いだというものも子どもにとってはそうでないということが学びとなった。匂いを嗅ぐことは徐々に子どもたちに浸透し、草や葉など匂いを嗅ぐ仕草を見せるようになった。嫌がっていた子も冬になると自ら取った葉など匂いを嗅ぐようになった。手触りを楽しむ時には「つるつるしてるね」「大きいね」「きれいね」など感触や形状を言葉で伝えるようにした。初めは触れることを嫌がっていた子も日々の活動を通して自ら触ってみる姿が見られるようになった。五感を通して感性を豊かにする経験を四季を通じて行っていき、子どもたちも興味を持って触れていた。

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	ありぐみ
活動日	2025. 10. 6 (月)

### 1.テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2.活動スケジュール

様々な植物に興味を持ち、採集・観察できるように大きな透明容器を園庭に出る前に設置しておく

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の散策を盛んに行い、保育者も一緒になり植物に興味・関心を持ち触れる、香りを確かめるなど行うことで、子どもの興味を引き出す
- ・気になったものを入れる透明容器を設置する

### 4.探究活動の実践【活動内容】

・園庭の植物に触れることが初めてだったので、散策を満足いくまで楽しみ、「これなあに？」の気持ちを大切に活動する。小さな小石や葉、1本1本の木々に興味を持ち、実った小さな実に気が付く。気になるものが増えてきたので、大きな透明容器にみんなで集めようと声をかけ、一人1つのカップを渡し、宝探しの気分で活動に取り組む。それぞれ拾った大切な物を透明容器に入れ、眺めたり「これはどんな匂いかな」と話し合う。

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】



・保育者に採ってもらったミカンの実の皮をむきたがり、黙々と皮をむく。むけると「見て！」と保育者や友だちに見せ誇らしげな表情を見せる。



・初めて見る木の実や、葉を見つけ、手に取りじっくり観察する。集中し、感触や匂い、音などを感じている様子である。「これ何かな？」と尋ねると、「ぶどう」など、自分の経験上で分かる言葉で伝え嬉しそうにする。



・一人に1つカップを渡したことで、“自分の物”という特別感がわき、集める作業が楽しい遊びになる。目を輝かせ、カップがいっぱいになるまでお気に入りの葉や、石を集めている。

### 6.振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

新園舎が建ち、初めて園庭に出たので保育者も気づかない小さな発見をする子どもたちに感心した。木の枝に小さな実を見つけたり、葉の裏に芋虫を見つけたりと発見した際は目を輝かせて「これなあに」と嬉しそうにしていた。採集も意欲的に取り組んでいたが“自然物”の理解がまだ難しく、石や砂など普段から目にするものを持ってきたり、落ち葉や形の変った葉を持ってきたりとさまざまであった。共通することは、集まったものを見て「すごいね」「葉っぱ綺麗だね」などと観察することを楽しみ、自分が持ってきたことを嬉しそうにしていたので、1歳児なりの達成感を持ち活動に取り組めたのではないかと。

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	はちぐみ
活動日	2026. 3. 11 (水)

### 1. テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2. 活動スケジュール

当日までに年長児とペアを考えておく。「お散歩ビンゴ」の用意をし、一人ひとりに配り公園に出かけ、自然探索を行う。帰園後、摘んできた自然物を観察する

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・「お散歩ビンゴ」カード ・ 図鑑 ・ 虫眼鏡 ・ ライトテーブル  
・ ルーペ ・ 虫かご

### 4. 探究活動の実践【活動内容】

- ・ 年長児とペアになり、「お散歩ビンゴ」を持って公園にでかけ、自然探索を行い、ビンゴを完成させていく
- ・ 見つけた自然物を園に持ち帰り、ライトテーブル、図鑑、虫眼鏡、ルーペを使用して、じっくり観察する

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】



「春ってなーに？」  
「桜咲いてるよ」  
「虫いるかなー？」  
「あっちに、鳥いた」  
・ お散歩ビンゴに書いてある自然物を一生懸命探していた



「この花、何て名前かな？」  
「たんぼぼ大きく見える！」  
「桜の筋が見えるよ」  
・ 年長さんのおかげで、じっくり観察を楽しむ子ども達



・ 年長さんの観察の姿から、虫眼鏡の使い方ライトテーブルの特性を知り、夢中で観察する姿があった



### 6. 振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

年長児と一緒に出掛けたことで、子ども達の「わたしもやりたい」という意欲がぐっと引き出されたように感じる。ビンゴという目的のある探索は、子ども達の視線を草花や虫などの小さな自然に向け、普段は見過ごしてしまう自然に注目できるきっかけとなった。帰園後には、摘んできた草花をライトテーブルや虫眼鏡、図鑑などの道具を使ってじっくり観察する姿が見られ、散歩での体験がそのまま探究活動へとつながっていくことの大切さを実感した。

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	ひよこぐみ
活動日	2025.6月～9月

### 1.テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2.活動スケジュール

- ・ひまわりの種まきをする（6月）
- ・開花までの生長を観察しながら、植物を育てる経験を楽しむ（7月～9月）

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ひまわりの種、スコップ、じょうろ、クレヨン、画用紙
- ・登降園や戸外あそびの際に自然に観察できる園庭に種をまいて、育てられる環境を整えた

### 4.探究活動の実践【活動内容】

- ・園庭に種をまき、水やりを行いながら、芽が出る様子や葉の生長、花が咲くまでの過程を観察し、植物の成長に親しむ
- ・ひまわりの開花後、花の形や色を観察しながら観察画を描き、種ができるまでの過程にも触れた

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】

「小さいね」「これがお花になるの?」とよく見て観察する子どもたち。種をまいた後、「早く大きくなあれ!」とみんなで声をかける。



毎日水やりを行うことを楽しみにし、ひまわりを見に行くことを楽しみにする

ひまわりが少しずつ大きくなる様子を見て、「葉っぱが増えてる」「大きくなってきたよ」と嬉しそうに友だちと話している



ひまわりの花が咲くと「大きいね」「きれいだね」と嬉しそうに観察し、観察画では、花の形や色に気づきながら自由に描いている



### 6.振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

ひまわりの栽培を通して、子どもたちは芽や葉、花の変化に気づきながら繰り返し観察する姿が見られた。水やりを楽しみにしたり、花が咲いたことを喜んだりする中で、植物の生長に対する興味や関心が高まり、身近な自然に親しみながら探究する経験につながった。身近な自然に触れる機会を大切にし、子どもたちの気づきや興味を広げていきたい。

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	うさぎぐみ
活動日	2025.6.12 (木)・10.28 (火)

### 1.テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2.活動スケジュール

- ・園庭で見つけた身近な植物に興味を持ち色水を作ってみる (6/12)
- ・身の回りで見つけた草花で押し花づくりを楽しむ (10/28)

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・色水づくりに必要な草花を集められるビニール袋やペットボトル、草花について調べられる図鑑を用意する
- ・押し花づくり用の紙、ラミネート、ライトテーブル、ルーペ

### 4.探究活動の実践【活動内容】

- ・子どもたちが見つけたいろいろな草花を図鑑で調べたり、観察したりする
- ・きれいな色の花を集めて色水づくりをする 色やにおいに着目する
- ・押し花に関心を持ち、身近な植物を押し花にしてみる

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】



- ・園庭で見つけた花で色水を作ってみる子どもたち

「ちょっとピンクになった」

「いろがうすいね」

- ・図鑑に載っている色水は濃くてきれいな色をしている

「こんないろがいいな-」

- ・色の濃いあじさいの花で作ってみると

「へんないろ」「なんかくさいよ」

- ・思い通りの色にならない難しさを感じている様子であった

- ・秋になりまた違った花が見られるようになり、押し花づくりが始まる

「この花押し花にどう？」

「コスモスもってきたよ」

たくさんのお押し花づくりを楽しむ

### 6.振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

草花を使った色水づくりや押し花の活動を通して、子どもたちは花の種類によって色水の色やにおいの違いがあることに気づき、自然への興味を深めていた。友だちと何度も「この花でもやってみよう」と言葉を交わしながら活動する姿も見られ、発見を共有する様子があった。今後も身近な自然に触れられる環境を整え子どもの気づきや興味が広がるようなかかわりを大切にしていきたいと感じた。

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	興野保育園
年間テーマ	自然
クラス名	ぞうぐみ
活動日	2025. 4月～5月

### 1.テーマ

自然

#### 【テーマの設定理由】

日常から草花、虫などの生き物が好きな子が多く、園庭にある身近な自然から、遊びの中で興味関心が深められるから

### 2.活動スケジュール

- ・園庭や散歩に行き、身近な動植物を見つける（4月）
- ・見つけた動植物を育て、観察できるようにする（5月）

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

虫かご・ルーペ・ライトテーブル・虫眼鏡・図鑑などを用意し、子ども達が観察しやすいように設定した

### 4.探究活動の実践【活動内容】

園庭遊びの中で子ども達一緒に動植物を探し、観察をして関心を引き出せるようにする

## 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり】



子：先生、なんかの虫がいる

保：本当だね、何かな？

子：虫かごに入れて飼ってみよう？

保：いいね！その子はどんなお家が好きなのかな？

子：草のそばにいるから、葉っぱをいれたら喜ぶかな？



その後図鑑で調べ、てんとう虫やモンシロチョウの幼虫であることがわかり、毎日の観察が始まる



### 6.振り返り【振り返りによって得た先生の気づき】

園庭や散歩へ行くと、自然に触れ遊ぶ児が多かった。飼育したいという子どもの気持ちに寄り添い、飼育を試みるが難しく成長過程を最後まで見ることが出来なかった。子どもと一緒に、どのように飼育をしたら良いのか考え、図鑑やiPadなどで調べていき自然に触れられるようにした。保育者も一緒に楽しみながら自然に触れられるようにしたい。